

情報開示文書（オプトアウト）夫婦の健康と労働への社会経済的影響に関する調査

○主要項目

[研究課題]

出産前段階における家族形成への新型コロナウイルス感染症の影響

[研究機関名および研究者氏名]

研究代表者：伊藤ゆかり・大阪大学大学院 国際公共政策研究科 招へい准教授
共同研究者：樺山舞・大阪大学大学院医学系研究科総合ヘルスプロモーション科学
講座・助教
三田貴・京都産業大学・国際関係学部・教授

[研究期間]

研究倫理審査委員会の承認日から 2025 年 3 月 31 日[予定]

[対象となる方]

インターネット調査会社のモニターの方を対象

[利益相反]

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

○オプトアウト項目

①試料・情報の利用目的及び利用方法

[研究の目的]

子どもを欲しいと思っても労働環境が整わない状況を背景に、結婚・出産を先送りにした結果年齢的に妊娠しにくく不妊になる「社会的な不妊」と不妊治療と仕事の両立に悩む「不妊退職」も起こっています。これまでの少子化対策は妊娠後から子育て支援に重点が置かれ、婚姻や妊娠に至りにくい社会状況を改革するための施策（経済・雇用や男女共同参画を包括した具体的施策）が行われていません。

我々の研究では、社会的な不妊の社会と経済に及ぼす影響を検討し、少子化の是正に必要な対策や重点を置くべき課題を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

この研究は、大阪大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。研究倫理審査委員会の承認を受けた後、インターネット調査会社により、インターネット調査会社のモニター（20～49 歳の既婚男女）に対して、健康と労働の社会経済的状況を尋ねるインターネット調査を実施します。

調査実施後は、インターネット調査会社がサンプルの抽出と匿名化作業を行います。その後、研究代表者は匿名化された調査データをインターネット調査会社より受け取り、データ解析をします。共同研究者は、研究代表者から調査データの提供を受けてデータ解析をします。研究代表者が調査データの管理を行っています。

この研究に関わって収集される試料や情報・データは、外部に漏洩することのないように、慎重に取り扱います。廃棄方法は、研究終了報告日から 5 年又は研究結果の最終公表日から 3 年又は論文等の発表から 10 年のいずれか遅い日まで保管した後、適切にデータを廃棄します。

今回の調査結果は、学術研究論文としてまとめ、少子化対策に向けた提言をします。

研究成果は、学術論文、学会発表、科学研究ホームページにより公表を行う予定です。

②利用し、または提供する試料・情報の項目

評価項目は、下記のとおりです。

①属性：年齢、職業、学歴、世帯収入、負債、②職業に関するもの：職務内容、就業と残業時間、雇用形態、仕事と子育ての両立支援制度、働き方の変更、仕事と治療の両立状況、③不妊治療：内容、期間、負担度、④新型コロナウイルス感染症の影響下における生活、⑤主観的健康観、妊娠の基礎知識

③利用する者の範囲

研究代表者：伊藤ゆかり・大阪大学大学院 国際公共政策研究科 招へい准教授
共同研究者：樺山舞・大阪大学大学院医学系研究科総合ヘルスプロモーション科学講座・助教
三田貴・京都産業大学・国際関係学部・教授（調査票作成と分析担当）

④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

研究代表者：伊藤ゆかり・大阪大学大学院 国際公共政策研究科 招へい准教授

⑤研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

研究内容を理解して納得していただいたうえで、この調査へ参加するかどうかをお決めください。なお、調査に参加された後でも、あなたの意思により、いつでも自由に調査への参加をやめることができます。やめた場合に不当な扱いを受けるなど不利益を受けることはありません。

ただし、研究参加の同意を取り消された時点で、研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もありますので、この点、ご了承ください。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

問い合わせ先は、下記のとおりです。

[問い合わせ先]

大阪大学大学院 国際公共政策研究科 招へい准教授 伊藤ゆかり
住所：〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-31
電話：06-6850-5636 E-mail：yuito@osipp.osaka-u.ac.jp